



10月に入り、日中の寒暖の差が大きくなって来ました。寝床に入る時はつい最近まで寝苦しい感じがありましたが、いつの間にか熟睡し、起床時はすっきりした朝を過ごせるようになりました。また、風邪も流行る季節でもありますので、美味しくバランスの採れた料理を食べて、健康管理を心掛けていきましょう。



重量目測

安全衛生委員会主催、全社員参加の重量目測を行いました。重量目測とは、見た目と実際に持った時の重さの感覚差を体感させ、重量物に対する安全意识・構えの必要性を認識させる訓練。※1
弊社では右の写真のように何種類かの重量物を用意し、重量物の重さを予測、最後に答え合わせという流れで行いました。今年は重量物とサイズ、比重など判断材料が多めの優しめの問題となっていました。

私は計算の途中で必要な値を入れ忘れるという致命的ミスをしてしまい、正解を求めることが出来ませんでした。同じく計算ミスをして修正出来た方からお話を聞いたところ答えを求めた後、実物を確認したところ今までの経験からこの答えは違うだろうと判断し、修正出来たとのことでした。

重量目測は本来上記のように重量物に対する安全意识・構えの必要性を認識させるものですが、今回はそれに加え経験の差というのはとても大きいものだと思感できる訓練になりました。

※1 厚生労働省 職場の安全サイト 重量目測訓練の実施



フォークリフト安全講習

重量目測と同じく安全衛生委員会主催のフォークリフト安全講習が行われました。こちらもフォークリフトに乗る乗らない関係なしの全員参加の講習です。

講習はパワーポイント資料とDVDを用いて実際におこったフォークリフトの事故件数や内訳、再現映像の視聴を行いました。DVDでは実際にこんなことしてしまう人がいるのかと驚くようなものから、似たようなこと見たような気がするものなど様々でしたが、事故の再現映像なので、どれも最後は大げがや最悪の場合などで同じことをしている人がいたらどうしようと見入ってしまいました。

私自身フォークリフトにぶつかられた経験があるためフォークリフト操縦者に用がある際は、一声かけてから止まっていることを確認し近づく等の対策をとっていますが、今後も慣れなどで確認がおろそかにならないよう気を付けたいと思います。



安全運転



ここ最近日が暮れる時間が早くなって来ています。今回は、夕暮れ・夜間の事故防止の紹介をしたいと思います。

統計から見る夕暮れ・夜間事故

平成29年～令和3年の5年間の時間帯別の死亡事故件数は、各時間帯約700件の事故があると言われています。その中でも、17時台が約1080件 18時台が約1000件 19時台が約910件と、1日の中で日没時間と帰宅時間が重なるこの時間帯の死亡事故が突出しています。

また、年間の時間帯別の死亡事故は、7月以降から増加傾向に転じ、日没が早くなる10月から12月にかけて、多発しています。

夕暮れ時・夜間の危険性を理解する

夕暮れ時・夜間の運転では、次のような危険性があります。

- ①視界が悪化し、危険の発見が遅れる。
- ②早く帰りたいという「急ぎの心理」に陥りやすい。
- ③疲れから、漫然運転に陥りやすい。
- ④スピードを出しやすい。

夕暮れ時・夜間の運転では、スピードダウンと、早めのライトONを心掛けましょう。

夜間の運転では、上向きライトを活用しましょう

夜間、危険の発見が遅れると事故に直結します。夜間はロービーム(照射距離約40メートル)ではなく、より遠くまで照射できるハイビーム(照射距離約100メートル)を基本に走行するようにしましょう。市街地や歩行している場合や、先行者・対向車がいる時はロービーム走行に切り替えるなど、状況に応じてライトの切り替えを行いつつ危険の早期発見が重大事故の抑止につながります。



10月も半ばを通り過ぎて、ハロウィーンが迫ってきました。

我が家では毎年ハロウィーンモチーフのお菓子を食べています。

お菓子といってもお店で買ったものや手作りのものなどその年によって違うお菓子が出てくるので毎年の楽しみになっています。

去年は手作りのカップケーキが出てきましたが、ハロウィーンモチーフということで少しアレな見た目でした... 身内びいきではないですが、最近見るやけにリアルな目玉グミなどと比べると可愛いものだと思います。

今年もそのままかわいい路線を進んでほしいものです...



段々と気温が下がり、長袖の人を多く見るようになりました。

とくに朝方は気温20度以下になることが多く、お布団から出にくい季節になってまいりました。

いままでの気温差から体調を崩す人も現れるかと思えます。風邪、インフルエンザ、コロナウイルスと体調面では中々気が抜けない日々が続きますが、より一層体調管理等お気を付けください。